

フィールドスタディD 報告書

担当：古川裕康

ベトナム

実習期間：2025年3月3日～3月9日

テーマ：新興国における製造業調査（ベトナム・ホーチミン）

近年、経済成長を着実に重ねているベトナム。ASEAN地域の中心に立地している関係もあり、同地域のビジネスハブにもなっている。特に渡航するホーチミン市はフランス統治時代を経験しているため、西洋と東洋の文化が融合したアジア地域でも大変興味深い地域である。ASEANの重要な拠点の一つであるベトナムに展開する製造業は、多国籍企業のサプライチェーンにおいて、どのような役割を担っているのだろうか。歴史的にも多くの日系企業が進出している現場において、日系企業のグローバル・マーケティングについて現地調査する。

<到達目標>

世界の現場に赴き、自身の眼や肌で世界の動向について感じてもらう。企業や自治体の実施している努力や課題そして特徴について、海外の動向を調査する事で理解する。

バイク

- ベトナムでの移動手段の基本はバイクである。
- 現地のバイクは「ホンダ」と呼ばれる事も多い。ホンダ製で無いバイクも全てホンダと呼ばれる位、日本車の位置づけが彼らにとって大きいのである。



JETRO

- JETROホーチミン支部の方々に現地市場の動向についてブリーフィングして頂いた。
- ベトナムの近年の動向についてキャッチアップする機会となった。



ビンファスト

近年はバイク・自動車共にEVも登場している。ただし外資ではなく、国内のブランドに限られている状態となっている。

ベトナム財閥の便グループはベトナムEVメーカーのビンファストを立ち上げ、拡大を目指している。





ヤクルト本社

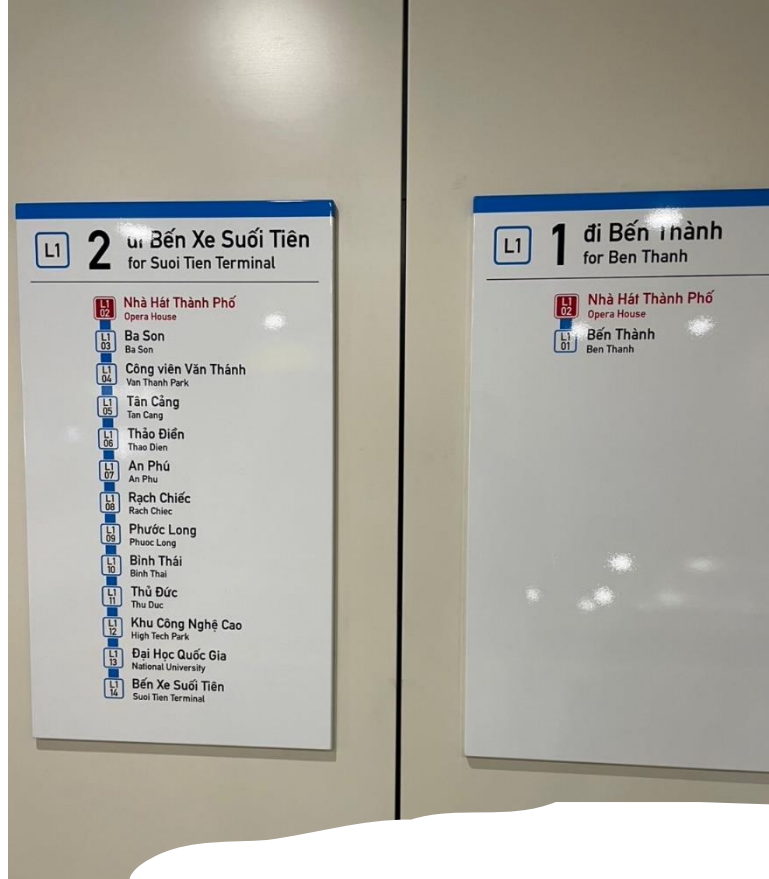
- ベトナム市場でのヤクルトの展開について教えて頂いた。社長，ならびに工場長にご対応頂き，工場での製造工程についても見せて頂いた。
- 社長はこれまで様々な東南アジア地域を統括されてきたので，ベトナム市場だけでなく，他市場の傾向についても教えていただいたことが特に大きな学びとなった。
- 誰でも飲む事ができる価格設定とするために，ハガキをベンチマークにしている。





小売店

- 近隣の小売店を視察しながら、どのような棚割り、商品販売を展開しているのかについても見て周った。
- ヤクルトと類似の商品も出ているが、ヤクルトは一切安売りやオマケを付けた販売促進を行わない。



地下鉄

ベトナム念願の地下鉄が開通。開通区間はまだほんの一部でしかないが、交通の混雑緩和が期待される。製造は日立製作所。日本の電車や駅の様子をベトナムで感じるのは不思議な体験であった。

現地 高校との交流

- 今回、明治大学の留学生が在籍していた高校に訪問する機会が作れた。
- 高校生達は、今後海外留学を目標としている者も多く、刺激を貰った様である。
- 何より日本とベトナムの人的交流を通して、価値観や文化の違いを再認識する機会となった。





エースコック

- 東南アジア地域、とりわけベトナム市場で大変興味深い経営、マーケティング活動を実施しているエースコックを訪問し、現地市場での経営・マーケティングについて教えて頂いた。
- 東南アジア地域で展開しているHao Haoは様々な種類で展開しており、Z世代を意識したものも存在する。
- 実際の製造工程を見せて頂き、試食もしながら、ベトナム市場の理解を深める事ができた。

総括

- 筆者は2010年にホーチミンへ渡航し、今回は15年後の姿を見る事になったが、この15年で著しい経済成長を遂げている事が垣間見られた。当時は無かった大きなビル群や鉄道、EVの出現等、これまでとは異なる様相を呈していた。
- 現地の食、国民性、風土等を学生達も感じる事が出来た様である。特に食に関しては、現地食だけでなく、日本食の進展も目覚ましいものがあった。

